

「こうやって作る木の学校 ～木材利用の進め方ポイント、工夫事例～」(概要)

平成22年5月 文部科学省・農林水産省

(1) 学校施設への木材利用の現状と取組

(2) 木材利用の意義と効果

教育的効果の向上 (心理・情緒・健康面、教室内の温熱環境、環境教育等)

地球環境への配慮 (地球温暖化防止、森林整備への貢献等)

大工技術者の育成、地場産業の活性化、文化の継承等

(3) 木材利用を進め易くするための方策

木材利用の目的の明確化と共通理解

木材利用推進体制の構築

木材を利用する学校づくりの進め方

木材利用を行うための条件の検討

・木造学校施設の建設は、敷地の広さや必要となる防火性能を確認した上で、大量の木材の確保方法、コストの検討を行うことにより実施可能か判断できる。

・都市部等であっても、内装木質化により、木材の良さを生かした施設にできる。

事業を進める上での留意点

・木材の品質、規格や、適材適所の使用等について関係者の合意形成を図りながら進める。

・早期に設計の中で必要な木材数量の把握し、関係者と連携して木材調達の準備を進める。

・伐採・製材・乾燥期間を考慮して事業スケジュールを設定する 等

タイプ別木造事例 (市町村有林・地元の森林・流通材の活用)、内装木質化事例

コストを抑えるための設計上の工夫例

・建設・維持管理のコストを抑えるため、地域の実情等に応じて、以下の工夫例の中から活用できるものを組み合わせて採用することができる。

〔 一般流通材・定尺材の活用、接合部の形状の統一化、木を使い切る、適材適所の木材使用、維持管理を配慮した設計 等 〕

既存木造施設の耐震補強・改修の意義とその方法

(4) 木材を利用した様々な空間

(5) 今後の課題

・ 木材利用が進む社会システムづくり

・ コンサルティング的役割を担う組織の形成 等

(参考資料)

木材を活用した学校施設の紹介事例の工事費等

・本工夫事例集で取り上げた事例の実績：172～394千円/m²

学校施設の整備における木の活用に関する課題解決の留意点などを解説するQ&A形式の手引書「あたたかみとうるおいのある木の学校 早わかり木の学校」(平成19年12月 文部科学省)及び本工夫事例集は下記ホームページにて閲覧できます。

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyosei/mokuzai/1284978.htm

